第40回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

【開催概要】

会議名 第40回大崎上島町公共交通連携協議会
日 時 令和6年1月31日(水) 13時30分～14時10分
場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室
出席者 20名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	流通情報工学科教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	○
尾道地区旅客船協会	事務局長	柳井裕志	○
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	○
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	信谷俊樹	○
大崎上島町連合区長会	副会長	山田泰三	○
大崎上島交通問題協議会	会長	閑田大祐	○
大崎上島町商工会	副会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太(副会長)	○
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	築山泉美	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	中井孝司	○
広島県地域政策局	交通対策担当課長	藤井 剛	○(代理 河越信二郎)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	稲田雅之	○
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	○
大崎上島町	地域経営課長	坂田 誠	○
大崎上島町	建設課長	藤原通伸	○

傍聴者 1名

【議 事】

1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

2. 議 題

(1) 報告事項

① デマンド交通実証運行の実施状況について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいま事務局から説明がありましたが、本件についてのご意見、ご質問等がございますか。
各委員	<意見なし>
議 長	無いようですので、本件については終了いたします。

② 一般乗合旅客自動車運送事業に係る車両数の変更について

事務局	<資料説明>
議 長	さんようバスから補足などありましたらよろしくお願ひします。
委 員	本件は報告事項になります。説明の補足はございません。
議 長	他に、本件についてのご意見、ご質問等がございますか。
各委員	<意見なし>
議 長	無いようですので、本件については終了いたします。

(2) 協議事項

① 交通体系検討に向けたアンケート調査の集計結果について

② アンケート調査の集計結果を踏まえた対応案について

事務局	<①②続けて資料説明>
議 長	ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。
委 員	高速船のコスト削減シミュレーション結果において、減便は抜本的解決には繋がらないということでしたが、いくらくらいであれば抜本的解決に繋がりますか。
事務局	このシミュレーションの数字は、あくまでも仮説として航路事業者に算出していただいています。高速船への赤字補填が5,300万円で、今年度はそれ以上になる見込みです。抜本的な数字は即答ができませんが、デマンド型運行等々を考えると3,000万円程度の削減が継続しやすい公共交通体系になるのでは、というイメージです。ただし、これは仮設での数値です。
議 長	全体予算の中での負担額でもあり、額だけの議論ではないと思います。
委 員	町民アンケートのフェリー利用者への結果について教えてください。今回は設問の中で対象航路についての区分はされていますか。その上で例えば、不満の理由がどういった形で出ているのかを知りたいです。事業者として、改善すべきことがあればしなければならぬと考えています。
事務局	質問において航路の区分けはしておらず、フェリー利用全体についてお聞きしています。なお、委員の皆様には「その他の内容」や「自由回答の結果」を参考資料として配付していますので、例えば、5ページからの「3-3 フェリーについて」の内容を見ていただき、「白水」などのワードで推察する形で読み取っていただければと思います。

議 長	かなり色々なことが書かれていて、見てすぐピンとこないところもあるかと思えます。このアンケート結果を元に今後また協議することになるかと思えます。
委 員	アンケート結果を踏まえた資料3-2の高速船あり方について、第1案、第2案とありますが、事務局としてはどちらで進めていこうとお考えでしょうか。
事務局	この2つの案については、本協議会でのご意見を踏まえて航路事業者と具体的に詳細を打ち合わせていきたいと考えています。最終的な航路廃止の決定権は運航する事業者にございますが、この協議会としての意見はまとめていきたいと考えています。
議 長	まずは協議会として意見をまとめるため、航路事業者と話をするというところでよろしいでしょうか。
一 同	<異議なし>
議 長	それでは、ご了承いただいたということで本件については終了いたします。

3. 閉会

以 上